

令和7年度教育事業報告書

| | |
|------|--|
| 事業名 | なすかしの森 100%鮮度（パーセンド）！体験キャンプ |
| 期日 | 令和7年8月16日（土）～17日（日） |
| 会場 | 国立那須甲子青少年自然の家（福島県西白河郡西郷村大字真船字村火 6-1） |
| 対象 | 子ども食堂を利用している子供やその保護者 |
| 参加者数 | 宿泊：小学生16人、中学生1人、保護者2人、団体スタッフ6人 計26人 日帰り：未就学児7人、中学生2人、保護者9人 計18人 |
| 趣旨 | 子ども食堂を利用している子供とその保護者を対象に、自然体験活動をはじめ、生活体験、宿泊体験などの多様な活動を体験することを通して、基本的な生活習慣の確立や自立する力の育成を目指す。 |

事業内容及び成果と課題

<事業内容>

子ども食堂を利用している家庭を対象としているため、参加者も未就学児から小中学生、保護者の参加もあった。家庭の状況に応じて日帰りの参加も可とした。また、団体より「子供たちが普段できないような体験する」「普段の生活の中でできることは自分でできるようにする」というテーマのもとにプログラムを構成した。

- ・自然体験活動 トレッキング、イワナつかみ、オリエンテーションなど
- ・生活体験活動 清掃活動やホットプレートを使ったお菓子づくりなど

<成果>

・異年齢の子供たちが普段できない自然体験や生活体験を共にすることで、他者への思いやりや社会性の発達、多様な価値観の理解、教え合うことによる相互の学びの深化を事業の端々で見取ることができた。

- ・子どもたちのアンケートの感想では、楽しかったことが多く記入されていたほか、やってみたいことも様々に記入されており、事後の日常生活への還元が期待できる。
- ・参加者アンケートの事業満足度の最上位評価は90.9%であった。
- ・宿泊室の清掃の仕方をレクチャーして丁寧に清掃を行ったり、ホットプレートでお菓子づくりを行ったりすることで、自分の生活にすぐに生かせる経験ができたようであった。

<課題>

・例年活動が天気によって左右されてしまう点が挙げられる。今年は星空観察を予定していた。しかし、荒天により実施できなかった。子どもたちも様々にやってみたいことをアンケートに記入してくれていることから、荒天時でも自然を感じられるようなプログラムを実施できるようにしていきたい。

事業の様子



イワナつかみ



交流タイム



花火



宿泊室清掃



オリエンテーリング



お菓子づくり